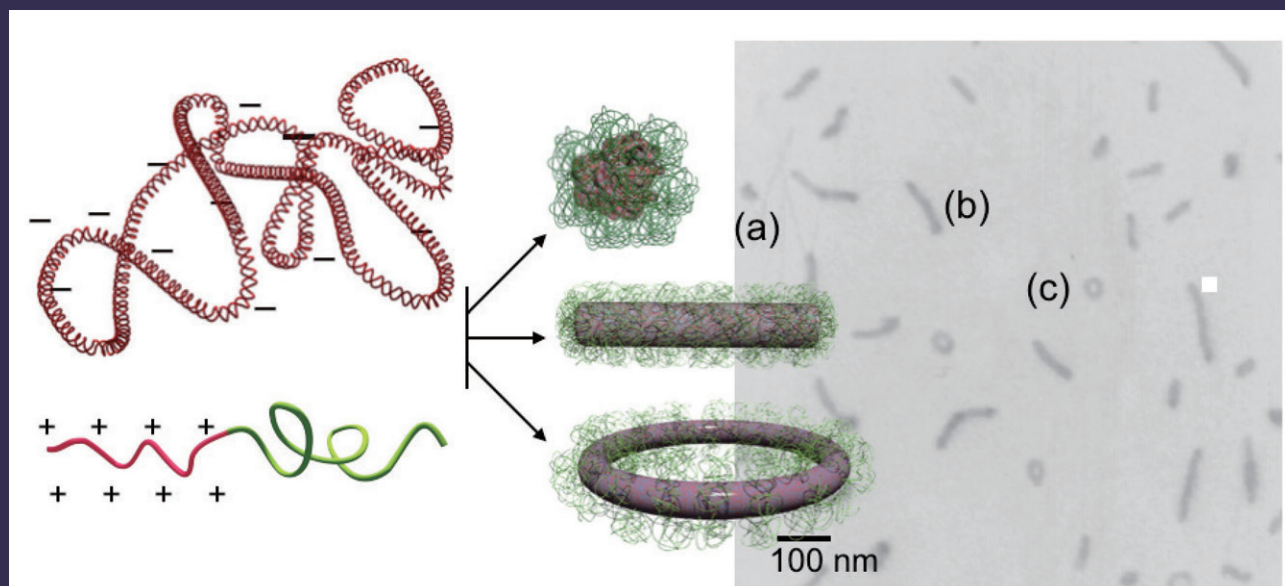


# Nanofiber

第10卷 1号



巻頭言  
総説  
研究最前線

**Volume 10 (1)**  
**2019. 7. 31**

ISSN 2185-3215

特定非営利活動法人 ナノファイバー学会

---

---

# ナノファイバー学会誌

# Vol. 10, No. 1

---

## ■ 巻頭言

世界的大変革の中にある 10 年目のナノファイバー学会と今後

谷岡 明彦 *Akihiko Tanioka* 1

## ■ 総説

橋渡しの類型化とヘルスケア産業への展開

三宅 正人 *Masato Miyake* 2

## ■ 研究最前線

ブロック共重合体で見る一分子 pDNA 複合体が造る高次構造とその制御

長田 健介 *Kensuke Osada* 7

シルクの素晴らしい構造とシルクナノファイバーを用いた小口径人工血管の開発

朝倉 哲郎 *Tetsuo Asakura* 12

細胞増殖因子を内包化したタンパク質微結晶を作るカイコ絹糸腺によるヒト角化細胞の  
3次元培養

丸田 莉奈 *Rina Maruta*

森 肇 *Hajime Mori* 17

バイオ用途を中心に、材料から見た 3D プリンティング

萩原 恒夫 *Tsuneo Hagiwara* 21

3D プリンターの医療技術への応用

齊藤 梓 *Azusa Saito*

吉田 一也 *Kazunari Yoshida*

川上 勝 *Masaru Kawakami*

古川 英光 *Hidemitsu Furukawa*

高木 朗 *Akira Takagi* 29

ラバーのリアクティブ 3D プリンティング

西野 孝 *Takashi Nishino* 35

■ ナノファイバー学会第 9 回年次大会報告 39

■ 特定非営利活動法人ナノファイバー学会定款 40

■ 役員会等報告 46

## ナノファイバー学会入会申込書

個人会員・学生会員

51

維持会員・賛助会員

52

## ■ 編集後記

53

---

### <表紙の画像>

長田健介氏提供

「ブロック共重合体によって折りたたまれる DNA の多様な高次構造。(a) グロビュール状構造、(b) ロッド状構造、(c) リング状構造。ブロック共重合体と DNA との相互作用を調節することで、これらの高次構造を制御することが出来る。: 本誌 [p. 9 Fig. 1] を参照」

